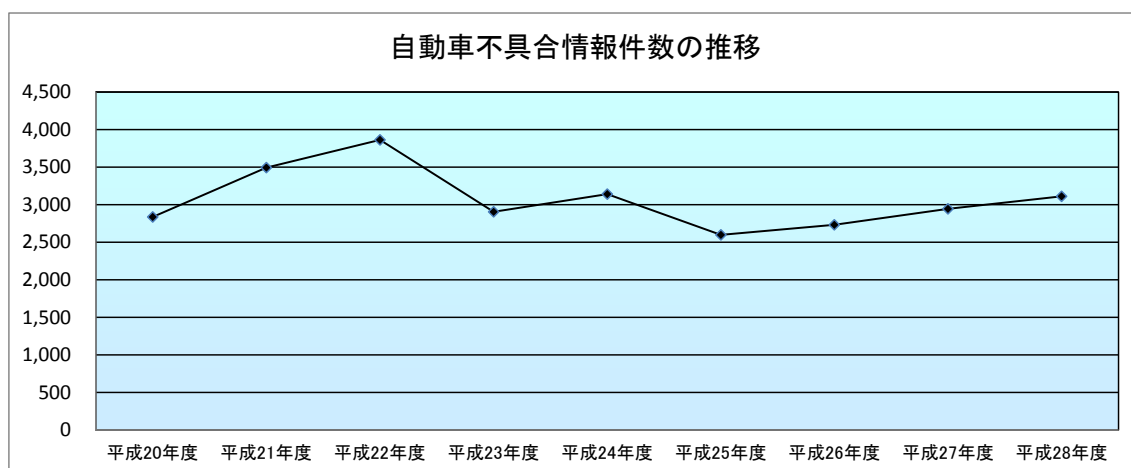


平成28年度の自動車不具合情報の統計結果について

国土交通省の自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車不具合情報について、平成28年度の統計結果をとりまとめたので公表いたします。

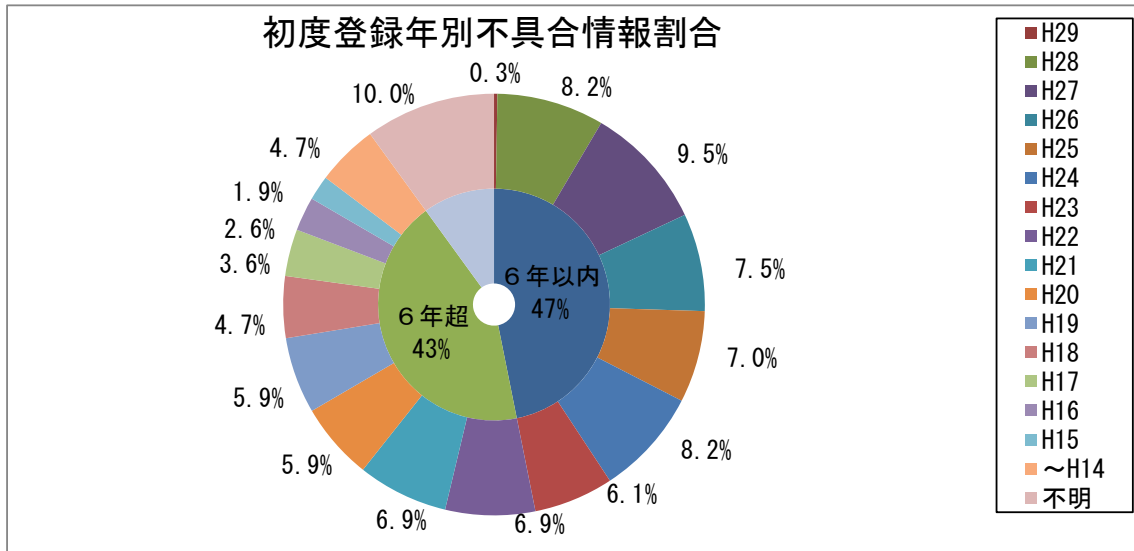
なお、本自動車不具合情報は、設計又は製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの誤使用等に起因する可能性があるものも含まれています。また、本統計はあくまでもユーザーの申告による不具合情報を元にしており、国土交通省として不具合情報の内容について事実関係を保証しているものではありません。

- 平成28年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた情報の件数は6,304件であり、そのうち不具合情報の件数は3,110件である。不具合情報件数の推移状況については、平成21、22年度は、トヨタ自動車のハイブリッド車の制動装置不具合をきっかけとしてリコールに対する社会的な関心が高まった結果、不具合情報件数が増加したが、その後はやや減少し、平成26年度からは微増の傾向にある。



年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数	2,837	3,493	3,862	2,906	3,141	2,597	2,733	2,943	3,110

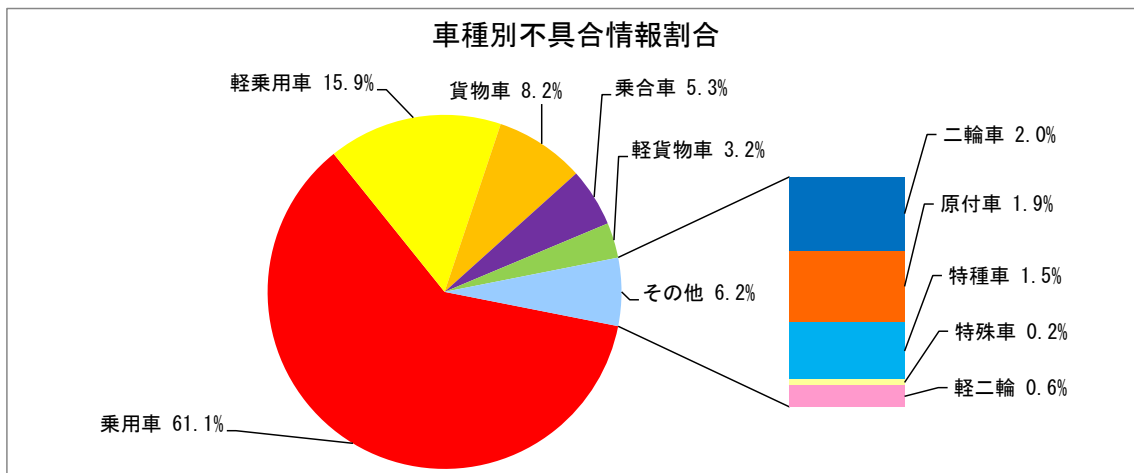
2. 初度登録年別（軽自動車にあつては初度検査年別。以下同じ。）の不具合情報件数は、初度登録年が平成27年の自動車に関するものが296件で全体の9.5%と最も多く、次いで平成28年が256件(8.2%)、平成24年が255件(8.2%)の順となっている。初度登録後6年以内の自動車に関わる不具合情報件数と6年超経過した自動車（不明を除く。）に関わる不具合情報件数を比較すると、大きな差はなく、6年以内の件数が若干多くなっている。



初度登録年	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15	~H14	不明	合計
件数	8	256	296	233	219	255	190	214	216	184	182	147	112	81	59	147	311	3,110

3. 車種別の不具合情報件数は、乗用車が1,901件で全体の61.1%と最も多く、次いで軽乗用車が495件(15.9%)、貨物車が255件(8.2%)の順となっている。

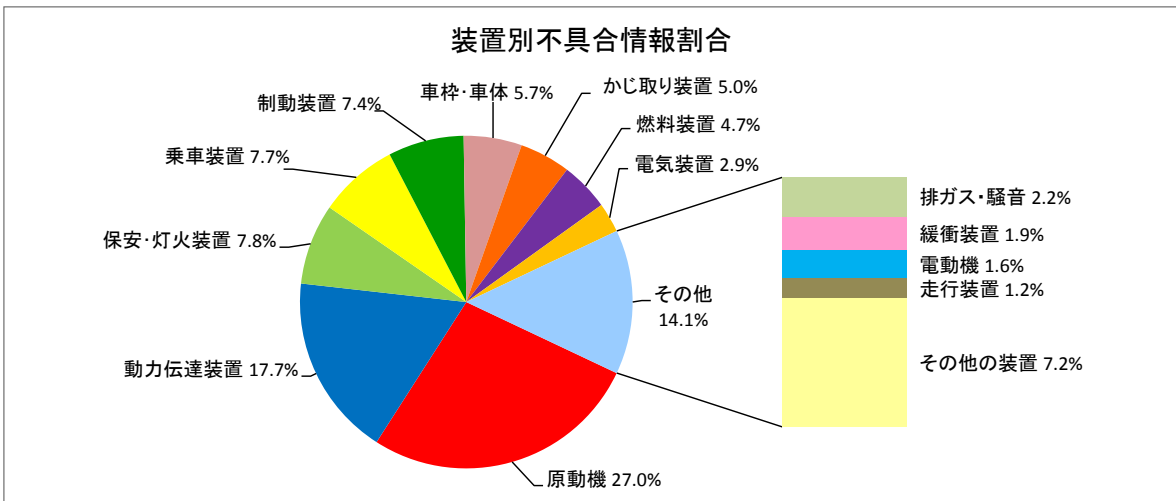
これは、平成28年3月末現在における乗用車の保有台数（39,354千台）が全保有台数（80,900千台）の48.6%であり、乗用車の普及状況が反映されているものと考えられる。



車種別	乗用車	軽乗用車	貨物車	乗合車	軽貨物車	二輪車	原付車	特種車	特殊車	軽二輪	不明	合計
件数	1,901	495	255	166	100	62	60	48	5	18	0	3,110

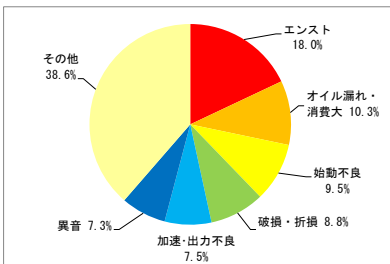
4. 装置別の不具合情報件数は、原動機が 841 件で全体の 27.0%と最も多く、次いで動力伝達装置が 551 件(17.7%)、保安・灯火装置が 244 件(7.8%)の順となっている。

また、不具合情報件数の多い装置について不具合事象の詳細を見ると、原動機の不具合事象はエンスト（151件）、動力伝達装置の不具合事象は変速不良（102件）、保安・灯火装置の不具合事象は窓ガラスの不良（動作不良、曇り、ヒビ等）（49件）がそれぞれ最も多かった。特に、エンストは、平成22年度から原動機の不具合事象の中で最も多くなっており、高速走行中にエンストが生じると後続車との追突事故等、重大な危険を伴うおそれもあることから、今後とも注視すべき事象である。



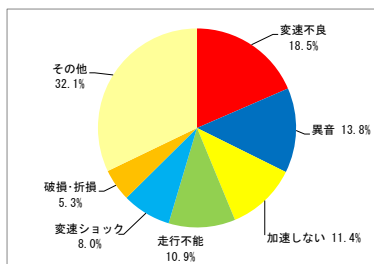
装置別	原動機	動力伝達装置	保安・灯火装置	乗車装置	制動装置	車枠・車体	かじ取り装置	燃料装置	電気装置	排ガス・騒音	緩衝装置	電動機	走行装置	その他の装置	合計
件数	841	551	244	241	229	176	154	147	90	69	59	49	36	224	3,110

1. 原動機



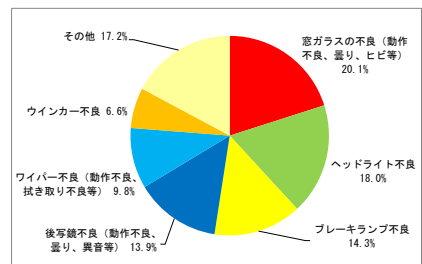
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	151
2	オイル漏れ・消費大	87
3	始動不良	80
4	破損・折損	74
5	加速・出力不良	63
6	異音	61
	その他	325
	合計	841

2. 動力伝達装置



順位	不具合事象	件数
1	変速不良	102
2	異音	76
3	加速しない	63
4	走行不能	60
5	変速ショック	44
6	破損・折損	29
	その他	177
	合計	551

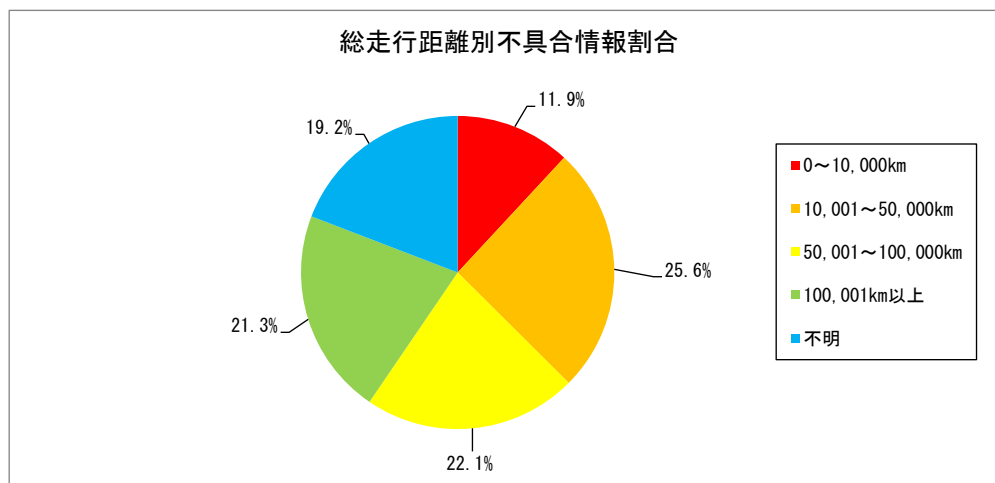
3. 保安・灯火装置



順位	不具合事象	件数
1	窓ガラスの不良（動作不良、曇り、ヒビ等）	49
2	ヘッドライト不良	44
3	ブレーキランプ不良	35
4	後写鏡不良（動作不良、曇り、異音等）	34
5	ワイパー不良（動作不良、拭き取り不良等）	24
6	ウインカー不良	16
	その他	42
	合計	244

5. 総走行距離別の不具合情報件数は、1万km超5万km以下が795件で全体の25.6%と最も多く、次いで5万km超10万km以下が686件(22.1%)、10万km超が663件(21.3%)、1万km以下が370件(11.9%)の順となっている。

5万km以下の不具合情報件数と5万km超10万km以下の不具合情報件数とを比較すると、前者が後者の約1.7倍となっており、初期型の不具合情報が多く寄せられている。

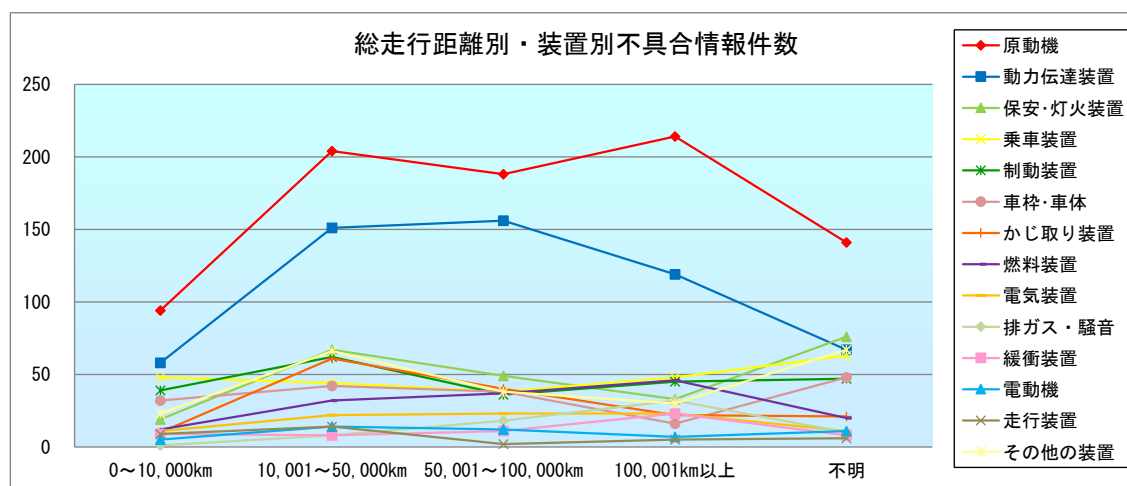


総走行距離別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
件数	370	795	686	663	596	3,110

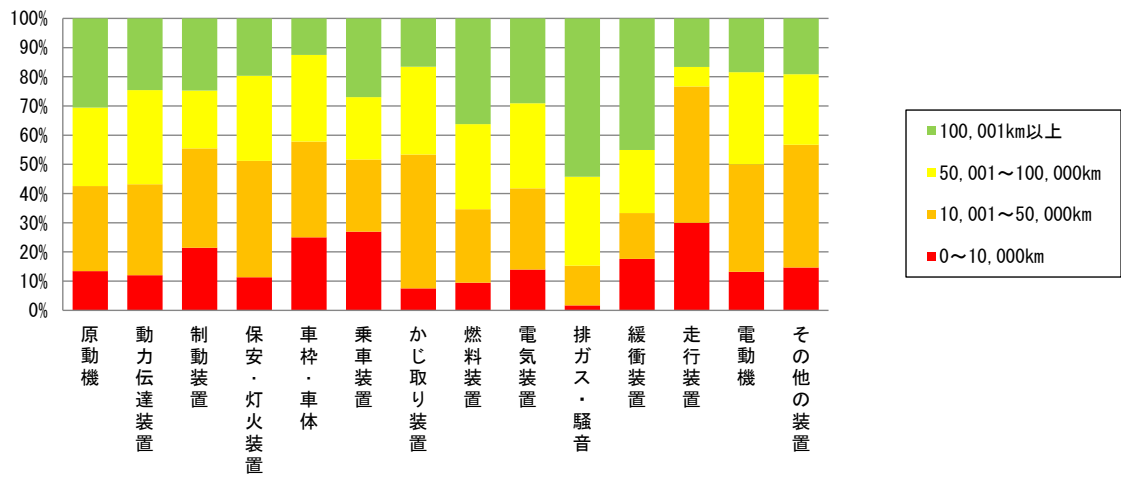
6. 総走行距離別・装置別の不具合情報件数は、全ての総走行距離別の区分（不明を除く。）において原動機の不具合情報件数が最も多く、次いで動力伝達装置となっている。このふたつの装置について、原動機は走行距離10万km超えの不具合情報件数が最も多く、動力伝達装置は総走行距離5万km超10万km以下の不具合情報件数が最も多くなっている。

また、燃料装置、緩衝装置及び排出ガス・騒音については、総走行距離が長い区分ほど不具合情報件数が多くなっている。それ以外の装置については、顕著な傾向は見られない。

なお、不具合情報件数が最も多かったのは、10万km超の原動機（214件）であり、次いで総走行距離1万km超5万km以下の原動機（204件）、5万km超10万km以下の原動機（188件）、の順となっている。



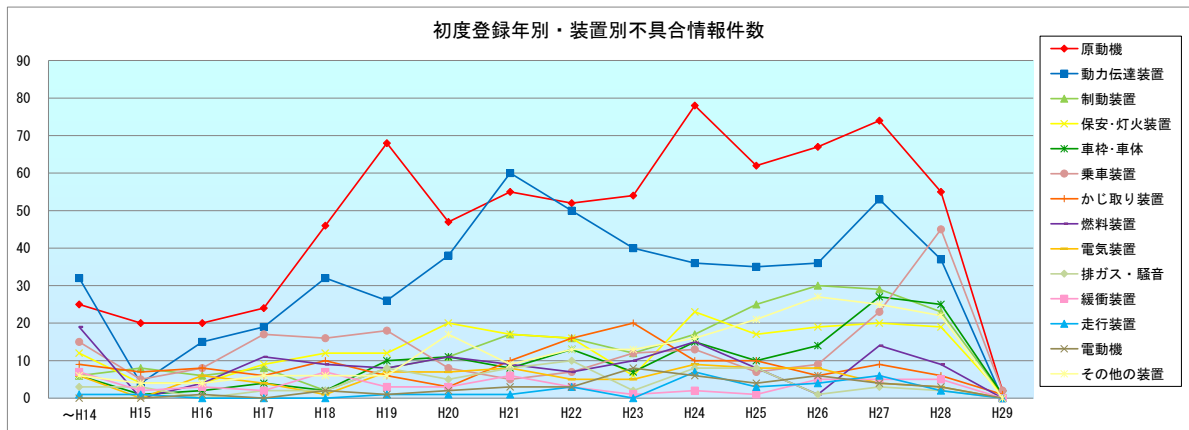
走行距離別・装置別不具合割合



総走行距離別 装置別	0~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
原動機	94	204	188	214	141	841
動力伝達装置	58	151	156	119	67	551
制動装置	39	62	36	45	47	229
保安・灯火装置	19	67	49	33	76	244
車枠・車体	32	42	38	16	48	176
乗車装置	48	44	38	48	63	241
かじ取り装置	10	61	40	22	21	154
燃料装置	12	32	37	46	20	147
電気装置	11	22	23	23	11	90
排ガス・騒音	1	8	18	32	10	69
緩衝装置	9	8	11	23	8	59
走行装置	9	14	2	5	6	36
電動機	5	14	12	7	11	49
その他の装置	23	66	38	30	67	224
合計	370	795	686	663	596	3,110

7. 初度登録年別・装置別の不具合情報件数は、概ねの初度登録年において原動機が最も多く、次いで動力伝達装置が多くなっている。

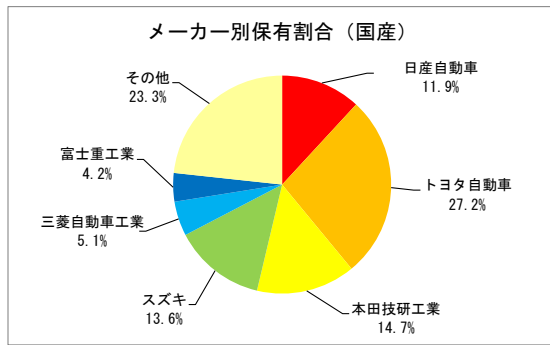
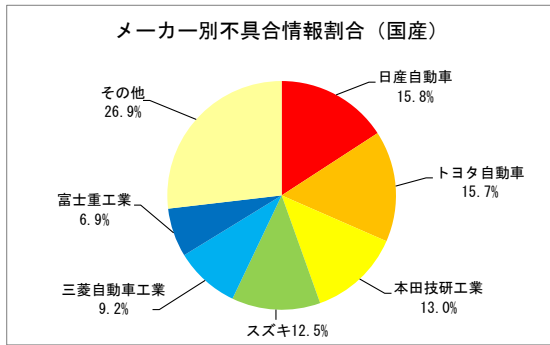
初度登録年の区分別に不具合情報件数の多い順を見てみると、原動機に関する情報で初度登録年が平成24年の78件、次いで同じく原動機に関する情報で平成27年の74件となっている。登録後概ね10年を超えると不具合情報件数に顕著な傾向はみられなくなっている。



初度登録年別 装置別	~H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	不明	総計
原動機	25	20	20	24	46	68	47	55	52	54	78	62	67	74	55	2	92	841
動力伝達装置	32	4	15	19	32	26	38	60	50	40	36	35	36	53	37	0	38	551
制動装置	6	8	6	8	2	8	11	17	16	12	17	25	30	29	23	1	10	229
保安・灯火装置	12	4	4	9	12	12	20	17	16	6	23	17	19	20	19	1	33	244
車枠・車体	6	1	2	4	2	10	11	8	13	7	15	10	14	27	25	1	20	176
乗車装置	15	5	8	17	16	18	8	5	7	12	13	7	9	23	45	2	31	241
かじ取り装置	9	7	8	6	10	6	3	10	16	20	10	10	6	9	6	1	17	154
燃料装置	19	0	4	11	9	8	11	9	7	10	15	8	1	14	9	0	12	147
電気装置	6	0	6	4	1	7	7	8	5	5	9	8	8	4	3	0	9	90
排ガス・騒音	3	3	0	2	2	8	5	8	10	2	8	8	1	3	2	0	4	69
緩衝装置	7	2	3	2	7	3	3	6	3	1	2	1	5	5	5	0	4	59
走行装置	1	1	0	0	0	1	1	1	3	0	7	3	4	6	2	0	6	36
電動機	0	0	1	0	2	1	2	3	3	8	6	4	6	4	3	0	6	49
その他の装置	6	4	4	6	6	6	17	9	13	13	16	21	27	25	22	0	29	224
合計	147	59	81	112	147	182	184	216	214	190	255	219	233	296	256	8	311	3,110

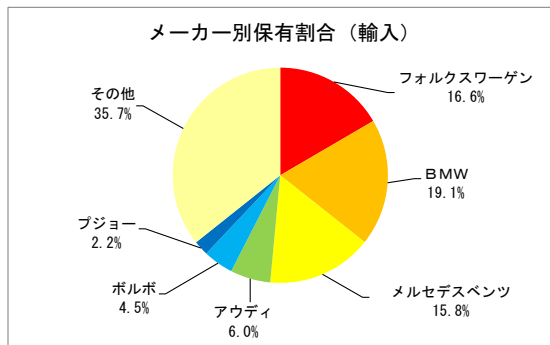
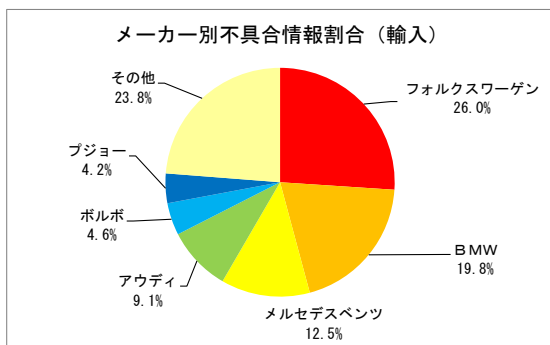
8. メーカー別の不具合情報件数（国産車）は、日産自動車が404件で全体の15.8%と最も多く、次いでトヨタ自動車が401件（15.7%）、本田技研工業が331件（13.0%）の順となっている。

また、メーカー別の不具合情報件数（輸入車）では、フォルクスワーゲンが137件で全体の26.0%と最も多く、次いでBMWが104件（19.8%）、メルセデスベンツが66件（12.5%）の順となっている。



順位	メーカー名	件数
1	日産自動車	404
2	トヨタ自動車	401
3	本田技研工業	331
4	スズキ	320
5	三菱自動車工業	234
6	富士重工業	176
	その他	685
	合計	2,551

順位	メーカー名	台数（千）
4	日産自動車	9,105
1	トヨタ自動車	20,848
2	本田技研工業	11,275
3	スズキ	10,471
5	三菱自動車工業	3,934
6	富士重工業	3,245
	その他	17,874
	合計	76,753



順位	メーカー名	件数
1	フォルクスワーゲン	137
2	BMW	104
3	メルセデスベンツ	66
4	アウディ	48
5	ボルボ	24
6	プジョー	22
	その他	125
	合計	526

順位	メーカー名	台数（千）
2	フォルクスワーゲン	688
1	BMW	790
3	メルセデスベンツ	656
4	アウディ	250
5	ボルボ	188
6	プジョー	93
	その他	1,480
	合計	4,145

(注)：保有台数は、平成28年3月末現在における(一財)自動車検査登録情報協会及び(一社)全国軽自動車協会連合会の集計数字（小型特殊自動車及び原動機付自転車を除く。）より算出した。